

特集

インタビュー

私の生き方、働き方



木村枝里子さん
仕事：パン製造販売 緑町在住

「以前この店をやっていた方から、いろいろな偶然で店を引継ぎ、気がつけば7年になります」と、笑顔で話す枝里子さん。通り過ぎてしまいうような柳沢の小さなパン屋、かわいらしい対面式のお店の中からニコニコした笑顔がこぼれる。小柄な体で、仕入れ、製造、配達、販売と全てを一人でこなし、切り盛りしている。「将来パン屋さんになりたいとは思っていましたが、この店のパン

に出会い、これだと思いました。食べる事が好きで始めたのですが、いつしか自分が作ったパンが売れる喜び、誰かが必要としてくれる事を知りました。でも、最初は毎日泣いていたんですよ」

ひとりじゃない

「祖母と母は、金銭面、精神面あらゆる部分で、私を助けてくれています。経理は祖母の担当です。パンを一から作り直した時期があり、お客様が離れていった事もありました。そんな時も家族の支えで乗り越えられました。仕事は人生勉強のため、生活のためにはなっています。家族の応援でやりたい事をやらせてもらっています」

「そして、この店を通じて知り合った人達がいろいろな事を教えてくれます。ひとりだけどひとりじゃないんです。でも、体力面は自分が支えていかなければ

ならない辛い部分です」

夢をたくさん持つ

「小さい頃から働く事への興味はありました。花屋さんか保母さんか、美容師か、農業をやっていたかも知れません。基本は何かを育てる、作り上げるという事かな」高校を卒業し、多感な10代から、自分の城を持ち、前進し続ける彼女。この後はどう生きて行くのだろうか。

「自分のやりたい事を早い時期から始められたので、もう少し落ちついてから、この先の人生を考えてみたい。結婚も、出産も子育ても。この仕事を続けていくかどうかはわかりませんが、出来たら、家族が食べる分だけのパンを焼きたい。5年目を過ぎた頃から、やっと少し自信がついてきました。流れもわかってきました。以前は自分の事で精一杯でしたが、一年前から誰かを応

援する余裕が出てきました。ケーキやクッキーを上手に作る方が増えていきます。それを私の店で委託販売していません。売る事で作る人もパワーが出てくるんです。そのパワーをもらっています。私と同じ様に、何かを始めたいという女の人が増えてきていると思います。そんな人達のお手伝いを少しでもしたいと思うようになりました。可能性も夢も、もっとふくらまして。私の店がそんなきつかけを作る場となれば、とても嬉しい。何かをはじめたいと迷っている人に、今なら『やれるよ』と力強く言ってもらえます」

お店の内装も手作り、壁も自分で絵を描き居心地のいいスペースを作り上げています。日々の苦労の中にも充実感がみなぎっている。みんなから支えられて自分は働いていられると話す枝里子さん。その笑顔が、みんなを支えているのだと感じた。